

2026年度

今年度も実施します!!

## 医療の質 可視化プロジェクト

参加費  
無料

- 院内データを活用して、自院の診療・ケアの質を可視化するプロジェクトです。
- 病院の機能・規模等にかかわらず、さらなる医療の質の向上を目指すオールジャパンの取組です。

「質」の努力を

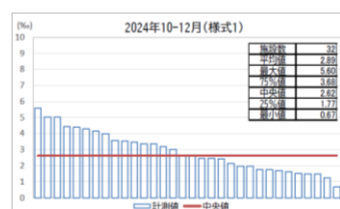
見える形へ

## 本プロジェクトの流れ



## 計測・データ提出

DPCデータなどの院内データを使って指標を計測し、提出します。



## フィードバック

提出データをグラフ・表で視覚化。経時変化や他施設比較から現状を把握できます。

質改善の契機となるセミナーも開催予定!

|     | 計測対象期間            | 提出期限(予定)   |
|-----|-------------------|------------|
| 1回目 | 25年10~12月・26年1~3月 | 26年7月末     |
| 2回目 | 26年4~5月・(6~9月*)   | (27年1月中旬*) |

\*26年6~9月のデータは、26年度診療報酬改定の影響を鑑み、今年度の計測・提出対象とするか検討中です。詳細が決まり次第、別途お知らせします。

25年度は

720病院が参加!

参加病院  
募集!!

お申込開始: 5月11日(月)

[https://jq-qiconf.jcqhc.or.jp/event/kashika\\_project\\_2026](https://jq-qiconf.jcqhc.or.jp/event/kashika_project_2026)

【参加対象】

指標を用いた取組に関心のあるすべての病院  
(DPC対象病院か否かを問いません)



# 今年度プロジェクトで扱う指標(9指標)

- 本指標は、診療報酬制度に準拠した定義・手順で運用するため、DPCデータを使って計測可能です。
- 国が指定する「病院情報の公表」に対応している場合は、同じ手順で計測できます。

計測手順書などの詳細は6月公表予定です

## 3テーマ・9指標

|      |  |
|------|--|
| 医療安全 | ①転倒・転落(件数), ②転倒・転落(3b以上), ③肺塞栓の予防(リスクレベル「中」以上) |
| 感染管理 | ④血培2セット, ⑤広域抗菌薬使用時の細菌培養, ⑥予防的抗菌薬投与             |
| ケア   | ⑦褥瘡発生(d2以上), ⑧入院早期の栄養アセスメント(65歳以上), ⑨身体的拘束     |

## DPC対象病院の皆様へ

- 現場のデータ計測・提出の負担を軽減し、ベンチマーク評価を全国規模に拡大するため、各病院のWebサイト内にある「病院情報の公表」ページに、上記9指標のデータが掲載されている場合は、そのデータを自動取得し、本プロジェクトの集計に活用する予定です。
- ただし、自動取得する公表データは1年単位であり、本プロジェクトの計測対象より過去のデータも含まれます。時系列変化を数か月単位で把握し、多面的な他施設比較を通して質改善に繋がりたい場合は、ぜひ本プロジェクトへご参加ください。

## よくある質問

Q. すべての指標を計測できなくても、申込は可能ですか？

A. はい。計測可能な指標が一つでもあれば、参加可能です。

Q. DPCデータそのものを提出すればよいですか？

A. いいえ。DPCデータそのものの提出は受け付けていません。院内で集計後、分子・分母の値を記入した計測ワークシート(Excel:申込後に配布)をご提出ください。

Q. 「病院情報の公表」に対応していれば、申込不要ですか？

A. はい。公表データを取得できた場合は、申込なくてもベンチマーク評価の対象になります。

ただし、取得データは1年単位のため、より直近のデータを数か月単位で把握し、多面的な他施設比較希望する場合は、お申込が必要です。ご参加いただくと、自院の位置をハイライトで確認できる資料も非公開でご提供します。



## 25年度プロジェクトの集計結果を公表中です

### ① 集計結果報告書

病床規模別の棒グラフ・急性期機能などの病院機能別の箱ひげ図などを掲載

### ② 層別集計表

病院の属性情報別(地域・開設主体など)に基本統計量を集計

